



1999年9月に、アメリカ合衆国ルイジアナ州ニューオリンズで開催された、アメリカ耳鼻咽喉科頭頸部外科学会に参加してきました。

写真は、有名なカフェデュモンド(岡山ビブレにもありますが…)でSando先生(ピッツバーグ大学耳鼻科教授、右)、大崎先生(徳島大学難聴診療部教授、左)と写したものです。

耳鼻科開業医雑感Ⅳ

藤本耳鼻咽喉科クリニック 藤本 政明

開業して5年が経ちました。5歳の子供を診察する時、「お母さんのお腹にいた時から知っているよ。」と言えるようになりました。中耳炎で通っていた子供が久しぶりに来院すると、立派な青年に変身しておりびっくりすることもあります。自分では、あっという間の5年間ですが、その間の子供達の成長や変化には目をみはるものがあります。私もそろそろ開業医が板についてきたでしょうか？

1. インフォームド・コンセントについて

医師を選ぶポイントは、“質問して嫌がられない”、“わかりやすく説明してくれる”の2点です。インフォームド・コンセント(説明と同意)は、医師が、診察の結果、治療法、検査の必要性等についてわかりやすく説明し、患者さんがそれらを十分に理解して、最終的には患者さんが“自分で治療法を決定する”というものです。一方では、専門的な分野なので結局、わからないから医師に任せておけば良いという考えや、患者さんに決定させるのは結局、医師の責任逃れだという意見もあります。しかし私は、患者さんが自分の病気に関心を持ち、治療に参加することで医師との間に信頼感が生まれ、安心して病気を克服していけるのではないかと思います。

2. セカンドオピニオンについて

情報も知識もない患者さんにとっては、治療法の決定を自分でできなかつたり、自分がかかっている医師がどれほどの技量と情報を持っているのかわからないため不安を覚える場合があります。セカンドオピニオン(第二の意見)は、主治医以外の医師の意見を言います。つまり、同じ科の他の医師に相談して意見を聞くということです。最初の医師を信用していないようで申しわけないような気がするという考えは必要ありません。

3. 説明時間の問題について

多くの患者さんを診察している外来診療では、十分な説明時間をとれないのが現状です。患者さんも、“伝えたいことはメモして準備”等協力して頂きたいのですが、それでも後で聞き漏らしていたことができてきます。その際、電話、ファックス、Eメールで聞くことができるなどの対策が必要になってきています。当院では試みにファックスでの質問を受け付けています。

ご自分の氏名・診察券の番号・電話番号・ファッ

クス番号と質問内容を書いて、当院(ファックス番号: 274-4132)まで送ってください。回答は、次回の診察時、あるいは数日以内にファックスで行ないます。但し、電話再診料(全額負担740円・2割負担150円・3割負担220円)を次回の診察時に請求させていただきます。くれぐれも、番号を間違わないようにしてください。

4. 治療費について

いくらい治療を受けても思ったより治療費が高ければ、満足感は得られません。今回、主な診療報酬を提示しましたので、参考にしてください。但し、初診料や再診料は、患者さんの年齢や診察時間帯によって違います。

平成11年11月現在 単位:円

	全額負担	2割負担	3割負担
初診料	2,700	540	810
再診料	740	150	220
処方箋料	810	160	240
紹介料	2,900	580	870
耳処置	250	50	80
複雑耳垢除去	1,000	200	300
皮膚科軟膏処置	420	80	130
鼻処置+副鼻腔洗浄	520	100	160
咽頭処置	120	20	40
ネブライザー	820	160	250
鼓膜切開	4,600	920	1,380
咽頭異物摘出(簡単)	3,200	640	960
咽頭異物摘出(複雑)	9,800	1,960	2,940
鼻内異物摘出	5,800	1,160	1,740
聴力検査	3,000	600	900
簡易聴力検査	800	160	240
ファイバースコープ	6,200	1,240	1,860
アレルギー検査(スクラッチ)	項目 500	項目 100	項目 150
アレルギー検査(血液)	項目4,650	項目 930	項目1,400
鼻レントゲン	2,430	490	730
細菌検査(鼻)	6,900	1,380	2,070
細菌検査(耳)	6,250	1,250	1,880
血液検査(感染)	3,260	650	980